



NetWave

報道発表資料

平成 19 年 5 月 28 日
図研ネットウェイブ株式会社

図研ネットウェイブ、Wedge Networksのアンチウイルスおよび アンチスパムのマルウェア・スキャン向けの 画期的なコンテンツ検査エンジンを日本に導入

共同特許出願中の新技術で検査精度を大幅に向上、
ネットワーク事業者がアップストリーム/ダウンストリームの遅延なしに
ユーザ・コンテンツのウイルスおよびスパム・スキャンを可能に

ネットワークセキュリティ製品の販売およびインテグレーションを行う図研ネットウェイブ株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：中村郁生、以下図研ネットウェイブ）はこのたび、同社が一次代理店を勤めるWedge Networks（旧社名：WirelessEdge Canada, Inc.、本社：カナダ・アルバータ州カルガリー、CEO：フィリップ・ジー、以下Wedge Networks）が開発した高速コンテンツ・セキュリティ・スキャン・エンジン「Subsonicスキャン・エンジン」の日本市場における販売を開始すると発表しました。

ネットワーク・セキュリティ・ソリューションを提供するプロバイダWedge Networksが、新たに発表したSubsonicスキャン・エンジンは、信頼性の高いネットワーク・ベースのコンテンツ・インスペクション（NBCI：Network Based Content Inspection）を、既存のソリューションよりはるかに高い精度と速度で行う、他社に先駆けた革新的なソリューションです。Subsonicエンジンは、企業およびサービス・プロバイダのネットワークにおけるアンチスパムとアンチウイルスのスキャン性能を飛躍的に向上させています。

図研ネットウェイブと共同特許出願中の革新的技術であるSubsonicスキャン・エンジンは、現行の分析と過去セッションの結果を関連付けることにより、あらゆるNBCIスキャン・セッションで効率性を向上しています。疑わしいコンテンツをリアルタイムで素早く認識できるこの能力により、コンテンツ・インスペクションを行う必要性が大幅に減少します。とりわけ、Subsonicスキャン・エンジンはペイロード検査の「スループット上のボトルネック」を取り除くことで、広く普及しているソフトウェアの新リリース、デジタル画像、ビデオあるいはその他の圧縮コンテンツがリリースされた際の、大量の一時的コンテンツのアップロードおよびダウンロードによる影響を軽減します。

Wedge Networksの最高技術責任者であるホンウェン・ツァン（Hongwen Zhang）博士は次のように述べています。「現代のネットワークトラフィックの特色は、同時に多数のユーザが多種多様な通信プロトコルを介して様々なサイズのアプリケーション・コンテンツの送信および検索を行うところにあります。Subsonicスキャン・エンジンは、ペイロード検査の効率性を向上させることにより、企業あるいはサービス・プロバイダのネットワーク・オペレータがサービスの品質を維持できるようにします。この飛躍的進歩により、多数の同時ユーザはスループットとスキャンの品質を損なうことなくサービスを受けることができます。」

効率性の向上に加え、Subsonicスキャン・エンジンは集中的な大量ペイロードにさらされたり、大規模なコンテンツ・インスペクション・タスクにより「ライブ・ロック」の状態になった場合のシステム資源の枯渇リスクを軽減することにより、NBCIシステムの安定性を強化します。さらに、ひとつのNBCIノードが学習した最適化ナレッジを別のノードが共有することによって、NBCIのコスト効率の改善も行っています。

Wedge NetworksのBeSecureネットワーク・セキュリティ・アプライアンスはアクセス・ネットワークの接続部に設置され、不正なアクセス、ウイルス、マルウェアおよびアドウェアがエンドユーザおよびデバイスに到達するのを防ぎます。当ソリューションはクライアントソフト不要の拡張性の高いシステムとして既存のネットワークに安全かつ迅速に導入でき、既存ファイアウォールおよびVPNとシームレスに共存できます。Wedge NetworksのSubsonicスキャン・エンジンはすでにBeSecureプラットフォームの一部実装され、世界中の10数社のお客様のネットワークで試験導入されています。

国内では、Subsonicスキャン・エンジンはBeSecureネットワーク・セキュリティ・アプライアンスに搭載され、企業・プロバイダ向けに図研ネットウエイブから販売されます。価格は280万円からです。

製品に関するより詳しい情報は、<http://www.znw.co.jp/> をご覧ください。

図研ネットウエイブ株式会社について

図研ネットウエイブ株式会社（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：中村 郁生）は、急速な発展とともに多様な課題を抱えるインターネット市場に独自のソリューションによってビジネス展開するために株式会社図研の出資により設立されました。図研ネットウエイブでは、今まで企業ネットワークにおける外部からの脅威、内部からの情報漏えいといった問題に対するソリューションを提供してきました。さらに、企業の認証ギャップを解決し、日本版SOX法に代表されるセキュリティコンプライアンスに対応出来る、新たなソリューションを提供します。詳しい情報は <http://www.znw.co.jp/> をご覧下さい。

Wedge Networksについて

Wedge Networksは、企業ネットワーク、サービス・プロバイダ、および通信事業者に向けたネットワーク・セキュリティ・ソリューションを提供します。Wedge Networksのネットワーク・セキュリティ・アプライアンス製品ラインは、アンチウイルス、アンチスパム、アンチマルウェアのための最善のテクノロジーを融合しています。マルチレイヤの高性能アーキテクチャを採用したWedge Networksの製品BeSecureは、その信頼性の高い簡単な設置方法と相まって、世界中の先進的ネットワークの保護および高速化に利用されています。Wedge Networks社は2002年12月にWirelessEdge Canada, Inc.として設立された、カナダのカルガリーに本社を置く株式非公開企業です。

詳しい情報は <http://www.wedgenetworks.com> をご覧ください。